「わかる！」「できる！」どの子どもも 授業に参加しやすくするためのチェックポイント

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項　　　目 | 具　体　的　な　実　践　内　容 | ／ | ／ | ／ |
| １ | 視覚的刺激量の調整 | 〇黒板・黒板まわり　すっきりしている |  |  |  |
| 〇先生の机上・棚 すっきりしている |  |  |  |
| 〇教室内の棚・床　すっきりしている |  |  |  |
| ○先生の表情はおだやか |  |  |  |
| ２ | 聴覚的刺激量の調整 | 〇先生の声量は使い分けられている |  |  |  |
| 〇人権感覚のある先生の言葉遣い |  |  |  |
| 〇授業中の静寂が存在する |  |  |  |
| ３ | クラス内の理解促進 | 〇｢わからない｣｢教えて｣と言える雰囲気づくり |  |  |  |
| 〇柔らかい雰囲気をつくる言語環境づくり |  |  |  |
| ○ペア・グループ学習が成立する学級経営 |  |  |  |
| ４ | ルールの明確化 | ○学習規律が存在する |  |  |  |
| ○ルール定着のための指導が継続的になされている |  |  |  |
| ５ | 時間の構造化 | ○45(50)分の見通しが示せる指導計画を立てている |  |  |  |
| ○45(50)分の授業の流れ(見通し)を示している |  |  |  |
| ６ | 焦点化 | 〇めあては｢焦点化｣されている |  |  |  |
| 〇注目したくなる、考えたくなる工夫がなされている |  |  |  |
| ７ | スモールステップ化 | 〇漠然とした指示でなく具体的な指示になっている |  |  |  |
| 〇必要に応じて具体例・手本・ヒントの提示・考え方の共有等の工夫がなされている |  |  |  |
| ８ | 視覚化 | ○口頭だけに頼らない情報伝達の工夫（見える化）がなされている |  |  |  |
| ○目で見て確認・理解ができる工夫がなされている |  |  |  |
| ９ | 動作化・作業化 | ○45(50)分間 座学にならない工夫がなされている |  |  |  |
| 〇体や感覚を使って理解を深める活動を取り入れている |  |  |  |
| 10 | 共有化 | 〇子ども同士の活動が設定されている |  |  |  |
| 〇子ども同士で意見を交換する場が設定されている |  |  |  |
| 11 | 指示の出し方 | ○具体的に・短く・肯定的に・視覚的に話せている（ぐみこし） |  |  |  |
| 関わり方 | ○否定的注目よりも肯定的注目を心がけている |  |  |  |
| 〇否定的関わりよりも肯定的関わりを心がけている |  |  |  |